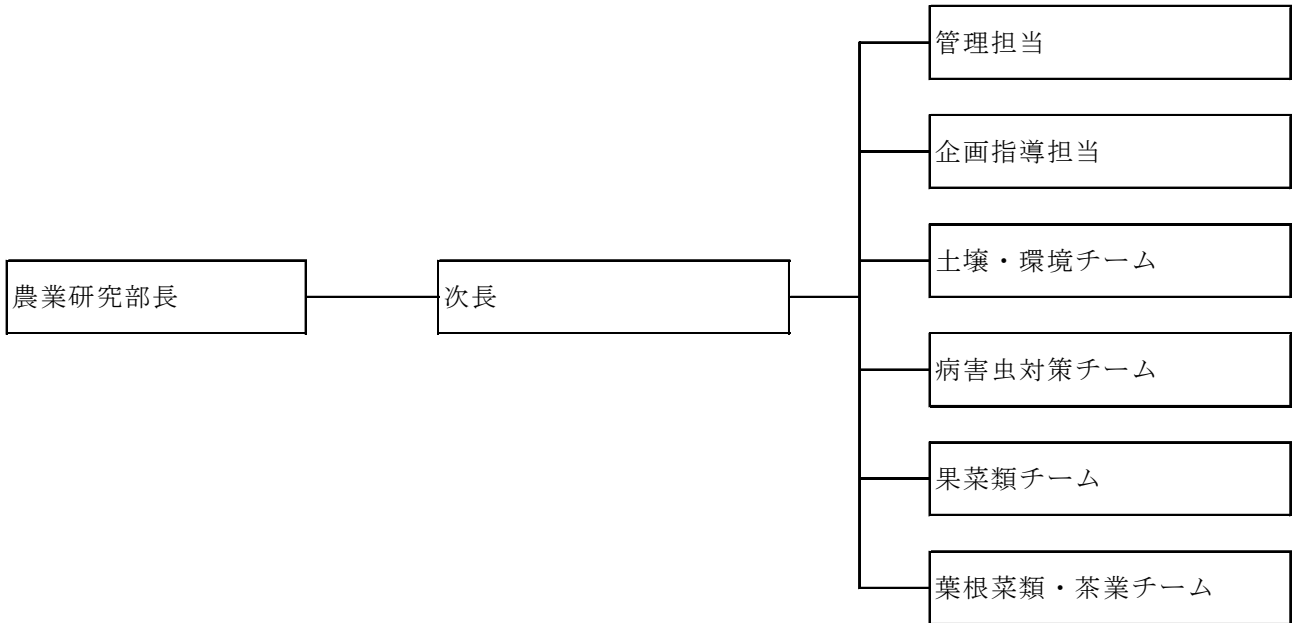


## II 各研究部・グループの概要

### II-1 農業研究部

#### 1. 組織および職員配置状況

##### (1) 組織



##### (2) 職員配置状況

平成28年4月1日現在

組織	職種	職員					計	備考
		事務	技術	技師	労務技師	業務技師		
部長	長		1				1	
次長	次長	1					1	
管理担当	担当	5					6	兼センター管理調整監
企画指導担当	担当		7				7	広域普及指導員3名
土壌・環境チーム	チーム		7		1		8	
病虫害対策チーム	チーム		9			1	10	
果菜類チーム	チーム		9	2		1	12	
葉根菜類・茶業チーム	チーム		6		1		7	
計		6	39	2	2	2	1	52

### (3) 業務

#### 主な業務

大分県農林水産試験研究基本指針に基づき、「The・おおいた」ブランドを確立するための産地づくりを技術面から支援する。研究課題の設定にあたり、県が推進する園芸戦略品目を中心に生産者や消費者・実需者のニーズを反映し生産現場に直結する栽培法や新品種を開発・改良・実証するとともに、地域未利用資源の新たな活用方法や品質、収量の向上に加えて、省力化技術など課題を解決するための研究を行う。

#### 企画指導担当

- ①生産者に対する研修及び現地指導
- ②農業経営の調査・研究
- ③試験研究の企画調整、進行管理
- ④研究成果のとりまとめ、研究員の育成

#### 土壌・環境チーム

- ①農産物の安全・安心に関する研究
- ②未利用有機物資源の農業活用技術に関する研究
- ③農産物の栄養・機能性成分の調査・分析に関する研究
- ④土壌保全・環境保全の調査並びに対策技術に関する研究
- ⑤肥料取締に係る分析

#### 病虫害対策チーム

- ①安全性に配慮した農産物の生産技術に関する研究
- ②化学農薬の削減による安全・安心な防除技術に関する研究
- ③難防除病虫害対策、農薬耐性菌・抵抗性病虫害対策に関する研究
- ④病虫害発生予察及び、予防的減農薬栽培技術に関する研究
- ⑤マイナー作物への適用農薬の登録推進に関する研究

#### 果菜類チーム

- ①果菜類（トマト・イチゴ・ピーマン）の栽培技術に関する研究
- ②イチゴのオリジナルの品種育成・普及に関する研究
- ③イチゴウイルスフリー苗の供給
- ④パプリカの現地実証
- ⑤スマート農業推進事業に関すること

#### 葉根菜類・茶業チーム

- ①葉根菜類（ネギ、ニラ、カンショ等）の栽培技術に関する研究
- ②茶の栽培技術に関する研究
- ③カンショ、茶の品種選定
- ④カンショウイルスフリー苗の供給

2. 試験研究課題

農業研究部 (1/9)

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分	時期
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目					
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①					
I 構造改革を加速し、もうかる農林水産業を実現するための研究開発					
1 構造改革の更なる加速のための技術開発					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いちごの大規模経営体を育成・支援するための技術開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 大規模経営体における安定出荷のための作型開発   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 収穫ピークの分散   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 定植時期の違いが収穫ピークの分散に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	果菜類 チーム	広域普及 指導員、 各振興局	H28～30	県単	前期
					後期
・ 環境制御技術によるいちごの収量向上					
・ 施設葉菜類のハウス内環境制御技術の確立					
<ul style="list-style-type: none"> <li>1) 新技术を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 冬ニラにおけるハウス内環境制御技術の確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 換気及び湿度管理方法の改善</li> <li>② 改善方法における炭酸ガス施用効果</li> </ul> </li> <li>(2) ベルトプランター利用技術の確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目別の適応性検討</li> <li>② 有望品目における栽培技術の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. コマツナにおける施肥及び水分供給方法の違いが生育に及ぼす影響</li> <li>イ. コマツナにおける局所加温の有無が生育に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目別の適応性検討</li> <li>② 有望品目における栽培技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. コマツナにおける施肥及び水分供給方法の違いが生育に及ぼす影響</li> <li>イ. コマツナにおける局所加温の有無が生育に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 革新的な省力栽培技術の開発                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「スーパー大苗」による夏越し作型安定化技術   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな夏越し作型における栽培管理方法の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 品種及び定植時期が生育、収量に及ぼす影響</li> <li>② 現地実証試験   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 試験導入による労力及び生育、収量性の把握</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(2) 新技术を核とした施設葉菜類の生産安定技術の確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) ベルトプランター利用技術の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目別の適応性検討</li> <li>② 有望品目における栽培技術の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. コマツナにおける施肥及び水分供給方法の違いが生育に及ぼす影響</li> <li>イ. コマツナにおける局所加温の有無が生育に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li></ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	北部振 興局	H27～29	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	豊肥振興局、 西部振興局	H27～29	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目別の適応性検討</li> <li>② 有望品目における栽培技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. コマツナにおける施肥及び水分供給方法の違いが生育に及ぼす影響</li> <li>イ. コマツナにおける局所加温の有無が生育に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	土壌・ 環境 チーム	H28～30	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 品目別の適応性検討</li> <li>② 有望品目における栽培技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ. コマツナにおける局所加温の有無が生育に及ぼす影響</li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	なし	H28～30	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場動向に対応した輸出用かんしょ生産技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 輸出向け小イモ生産技術の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>① 小イモ生産のための最適栽植密度の検討</li> <li>② 容器苗移植栽培技術の確立   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 育苗培土及び栽植密度の検討</li> <li>イ. 苗床イモの活用</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊肥振興局	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊肥振興局	H28～30	県単	
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小イモ生産のための最適栽植密度の検討</li> <li>② 容器苗移植栽培技術の確立                             <ul style="list-style-type: none"> <li>イ. 苗床イモの活用</li> </ul> </li> </ul>	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊肥振興局	H28～30	県単	前期
	葉根菜 類・茶業 チーム	中部振興局、 豊肥振興局	H28～30	県単	
・ トマトの低コスト養液栽培システムの開発					
H28該当無し					
後期					

農業研究部 (2/9)

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目	チーム	機関	期間	区分
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農産物の栄養分・機能性成分の数値化               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 農林水産物輸出拡大に関わる研究開発                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 栄養性や機能性を活かした研究開発</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>① 農産物の栄養成分・機能性成分表示に関わる技術支援 (県内農業参入企業対象)</li> </ul>	土壌・環境チーム	(株)大分和郷、(株)安心院オーガニックファーム、(有)ワタミファーム、(株)ohana本舗、中部振興局、北部振興局	H27~28	県単
・ 高付加価値な内容成分を有する輸出用農産物技術の開発			H28該当無し	
<b>2 ブランド化のための技術開発</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いちごの県オリジナル品種の品種登録と普及               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 県間連携によるイチゴ新品種の育成                   <ul style="list-style-type: none"> <li>第2期 目的とする特徴を持つ有望系統の選抜</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>(1) 県間連携による品種育成と栽培技術の確立</li>   <li>(2) 育種効率化のための交配、選抜方法の確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 効率化技術を用いた交配、選抜による有望系統の育成                   <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 実生選抜、二次選抜、三次選抜、四次選抜、五次選抜</li> <li>イ. 育成系統「大分6号」の栽培技術</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	果菜類チーム	山口県、鳥取県、島根県、広島県、岡山県、長崎県、九州農研セ	H28~30	県単
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 県間連携による品種育成と栽培技術の確立</li> </ul>	果菜類チーム	なし	H28~30	県単
<ul style="list-style-type: none"> <li>イ. 育成系統「大分6号」の栽培技術</li> </ul>	果菜類チーム	イチゴ品種育成支援プロ	H28~30	県単
・ いちごの県オリジナル品種の育成			H28該当無し	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トマト新品種の選定               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 「いつでも!大分産トマト」を目指した、省力・最適栽培管理技術の確立                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 安定生産のための省力・出荷量平準化技術の確立(夏秋)                       <ul style="list-style-type: none"> <li>① 中段密植栽培による出荷量平準化技術の確立</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>ア. 品種比較試験</li> </ul>	果菜類チーム	なし	H26~28	県単
・ 糖度判定技術の迅速化			H28該当無し	
・ 農産物の機能性成分評価に関する研究			H28該当無し	
・ 新需要に対応した品種選抜と加工技術の開発			H28該当無し	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域特性に即した品種選定と栽培技術確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) DNAマーカーを用いた県育成品種識別法と効率的選抜育種技術の開発                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) わい性トルコギキョウ品種の識別技術の確立</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	果菜類チーム	花きグループ	H26~28	県単
<b>3 マーケットインの商品(もの)づくりを加速のための技術開発</b>				
・ こねぎの冬期増収に向けた栽培技術の開発			H28該当無し	
・ 調製機械の効率化のための分析・改良提案			H28該当無し	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市場動向に対応した白ねぎの夏秋期安定出荷技術の確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立                   <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 「スーパー大苗」による夏越し作型安定化技術                       <ul style="list-style-type: none"> <li>① 新たな夏越し作型における栽培管理方法の確立</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>ア. 品種及び定植時期が生育、収量に及ぼす影響</li> </ul>	葉根菜類・茶業チーム	北部振興局	H27~29	県単

農業研究部 (3 / 9)

試験研究課題名	担当	連携	研究	予算
I大課題、 1中課題 ・研究項目	チーム	機関	期間	区分
※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①				
② 現地実証試験  ア. 試験導入による労力及び生育、収量性の把握	葉根菜類・茶業チーム	豊肥振興局、西部振興局	H27～29	県単
・ ドリンク用茶の安定収量確保のため二番茶の収穫適期判定技術の開発 1) ドリンク茶栽培における収量・品質向上のための総合的管理技術の確立  (1) 二番茶摘採適期予測技術の確立  (2) 更新時期の検討  (3) ドリンク施肥体系の検討	葉根菜類・茶業チーム	なし	H28～30	県単
・ 白ねぎの土壌病害の防除技術の確立 1) 根深ネギの夏秋期出荷量不足打開に向けた安定生産技術の確立 (1) 萎凋病および白絹病の防除技術 ① 萎凋病および白絹病の発生実態の解明  ア. 萎凋病の時期別発生消長調査  イ. 白絹病の時期別発生消長調査  ② 有効な薬剤の探索  ア. 萎凋病に対する有効薬剤の検討  イ. 白絹病に対する有効薬剤の検討  ウ. 白絹病に対する薬剤防除体系の検討  エ. 白絹病の耐性菌調査  ③ 耕種的な防除対策の確立  ア. 萎凋病に対する有効資材の検討	病害虫対策チーム	北部振興局	H27～29	県単
・ 夏秋トマトのすすかび病及び線虫類の防除対策 1) 夏秋トマトのすすかび病と線虫類に対する防除技術の確立 (1) すすかび病対策 ① 有効な薬剤の探索  ア. 薬剤感受性検定  イ. 体系試験  ② 現地実証試験  (2) 線虫対策 ① 防除技術の確立  ア. 液剤の灌注	病害虫対策チーム	なし	H26～28	県単

農業研究部（4／9）

試験研究課題名 I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
イ. 粒剤の防除効果比較  ② 現地実証試験  ア. 液剤の防除効果  イ. キルパー灌水処理による防除効果	病害虫 対策 チーム  病害虫 対策 チーム 病害虫 対策 チーム	豊肥振 興局  豊肥振 興局  豊肥振 興局	H26～28  H26～28  H26～28	県単  県単  県単
・ 農産物の安全安心に関する研究（薬剤抵抗性害虫の天敵利用技術）				
1) ゲノム情報等を活用した薬剤抵抗性管理技術の開発委託事業				
(1) 大分県におけるネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの発生実態	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26～30	国庫 (委託プロ)
(2) ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの奇主範囲の解明	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26～30	国庫 (委託プロ)
(3) 生物的防除資材による防除体系の検討（テントウムシ資材）	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26～30	国庫 (委託プロ)
(4) 生物防除資材による防除体系の検討（糸状菌製剤）	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県、豊肥振興 局、中部振興 局	H26～30	国庫 (委託プロ)
(5) 有効なトラップ資材の検討	病害虫 対策 チーム	農研機構果樹 研、農研機構 中央農研、日 本曹達 (株)、宮崎 県、和歌山 県	H26～30	国庫 (委託プロ)
2) 次世代バンカー資材キットによるアブラムシ類基盤的防除技術の実証・普及				
(1) コレマンアブラバチとナケルクロアブラバチ混合製剤と次世代バンカー法による防除効果の検討	病害虫 対策 チーム	農研機構中央 農研、アグリ 総研(株)、 豊肥振興局	H28～30	国庫 (農食事業)
① ピーマンでの実証試験	病害虫 対策 チーム	農研機構中央 農研、アグリ 総研(株)、 福岡県農林 試、北部振興 局	H28～30	国庫 (農食事業)
② イチゴでの実証試験	病害虫 対策 チーム	農研機構中央 農研、アグリ 総研(株)、 福岡県農林 試、北部振興 局	H28～30	国庫 (農食事業)
・ シンモザイク病及びびさび症の防除体系の確立				
1) シンサビダニが引き起こすオオバモザイク病およびびさび症の防除体系確立				
(1) 農業による防除技術の確立				
① シンサビダニの発生消長調査	病害虫 対策 チーム	法政大学、高 知県、愛知 県、農研機構	H27～29	国庫 (農食事業)

農業研究部 (5 / 9)

<b>試験研究課題名</b> I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1)、(1)、①	<b>担当</b> チーム	<b>連携</b> 機関	<b>研究</b> 期間	<b>予算</b> 区分
② ダニ剤のシソサビダニに対する残効性調査  ③ シソモザイク病に対する抵抗性誘導剤の効果  (2) 大分県における発生実態調査及び防除マニュアルの実証  ① シソモザイク病の発生消長調査  ② アンケート調査	病害虫 対策 チーム  病害虫 対策 チーム  病害虫 対策 チーム  病害虫 対策 チーム	法政大学、高 知県、愛知 県、農研機構  法政大学、高 知県、愛知 県、農研機構 他  高知県、愛知 県、農研機 構、中部振興 局  中部振 興局	H27～29  H27～29  H27～29  H27～29	国庫 (農食事業)  国庫 (農食事業)  国庫 (農食事業)  国庫 (農食事業)
・ 茶の高品質省力栽培・加工技術の開発			H28該当無し	
・ 新資材による低コスト施肥技術の開発				
1) 亜リン酸肥料を用いた夏秋ピーマン安定生産技術の確立  (1) 亜リン酸が及ぼす影響解明  ① 亜リン酸施用量の解明  ② 土壌化学性に及ぼす影響  (2) 施肥基準の確立  ① 最適な亜リン酸資材の検討  ② 最適な施用時期の検討	土壌・ 環境 チーム 土壌・ 環境 チーム  土壌・ 環境 チーム  土壌・ 環境 チーム	なし  なし  なし  なし	H28～30  H28～30  H28～30  H28～30	県単  県単  県単  県単
・ I P M管理技術を活用した防除体系の確立			H28該当無し	
・ 有機農業の支援			H28該当無し	
<b>4 力強い担い手を育成するための技術開発</b>				
・ 加工・業務用野菜栽培技術の確立				
1) 市場動向を見据えた露地野菜生産安定技術の確立 (1) 業務用加工キャベツの周年供給体制の確立 ① 4、5月どり安定生産技術の確立  ア. 4月どり  イ. 5月どり	葉根菜 類・茶業 チーム 葉根菜 類・茶業 チーム	なし  なし	H28～30  H28～30	県単  県単
・ 果菜類の安定生産技術の開発				
1) 「いつでも!大分産トマト」を目指した、省力・最適栽培管理技術の確立 (1) 安定生産のための省力・出荷量平準化技術の確立(夏秋) ① 中段密植栽培による出荷量平準化技術の確立  ア. 二作型の検討  イ. 仕立て方の検討  ウ. 品種比較試験  ② かん水施肥栽培システムの高機能化による出荷量平準化技術の確立  ア. 飽差管理の検討  (2) 最適栽培管理技術の確立(冬春トマト) ① 統合環境制御技術の確立	果菜類 チーム 果菜類 チーム 果菜類 チーム  果菜類 チーム  果菜類 チーム	なし  なし  なし  なし  なし	H26～28  H26～28  H26～28  H26～28  H26～28	県単  県単  県単  県単  県単

農業研究部（6／9）

<b>試験研究課題名</b> I大課題、 1中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①	<b>担当</b> チーム	<b>連携</b> 機関	<b>研究</b> 期間	<b>予算</b> 区分
2) ICTを活用した統合環境制御技術の確立による大規模園芸施設による周年・省力生産技術の確立  3) 高単収を実現する環境計測技術の確立、イチゴ大規模経営体を支援・育成する生産システムの確立	果菜類 チーム  果菜類 チーム	農研機構野菜 花き研究部 門、農研機構 中央農業研究 セ、北海道、 宮崎県、大分 県地域農業振 興課、各振興 局、タカヒコ アグロビジネ ス、ベストク ロップ  九次、長崎 県、佐賀県、 キヤノンマー ケティング ジャパン、キ ヤノンITソ リューション ズ、産科技 セ、赤野農 園、アクトい ちごファーム、豊潤、中 原農場	H28～30  H28～31	国庫 (農食事業)  国庫 (農食事業)
・夏秋ピーマンの省力・安定生産技術の開発 1) 夏秋ピーマン産地の次代を担う省力・安定生産技術の確立 (1) 施肥管理省力化技術の確立 ① 施肥方法の改善 (2) 栽培および出荷調整作業省力化技術の確立 ① 品種選定 ② 株間と整枝方法の改善 (3) 夏期の高温対策技術の確立 ① 遮光技術の確立	果菜類 チーム  果菜類 チーム  果菜類 チーム  果菜類 チーム	なし  なし  なし  なし	H27～29  H27～29  H27～29  H27～29	県単  県単  県単  県単
・低コスト耐候型施設の開発			H28該当無し	
・養液栽培における生産安定技術の開発 1) 水耕トマト低段密植栽培における養液組成安定技術の確立	土壌・ 環境 チーム	なし	H28	県単
・大規模茶園における安定多収穫栽培と品質安定技術（効率的施肥）の開発 1) 茶試験圃場の育成 (1) 育成系統評価試験・短期被覆試験	葉根菜 類・茶業 チーム	農研機構 野茶研 他	H28～30	県単
・高品質・安定生産・省力化のための茶園管理技術の開発			H28該当無し	
<b>5 地域資源の活用と環境対策のための技術開発</b>				
・環境に優しく地域資源を活用した農業生産技術の開発 1) 地域資源「大麦焼酎粕」活用技術の確立 ～普通作物・野菜における焼酎粕濃縮液の肥料成分利用技術の開発～ (1) 濃縮液特性解明 ① 分解特性の解明 ② 窒素成分発現量の解明	土壌・ 環境 チーム	なし	H27～29	県単
ア. 培養法	土壌・ 環境 チーム	なし	H27～29	県単



農業研究部（7／9）

<b>試験研究課題名</b> I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①	<b>担当</b> チーム	<b>連携</b> 機関	<b>研究</b> 期間	<b>予算</b> 区分
イ. 栽培試験（畑作）（普通作）	土壌・環境 チーム	水田農業 グループ	H27～29	県単
(2) 環境に及ぼす影響解明	土壌・環境 チーム	なし	H27～29	県単
ア. 土壌化学性調査	土壌・環境 チーム	なし	H27～29	県単
イ. 地下浸透水調査	土壌・環境 チーム	なし	H27～29	県単
(3) 現地実証試験	土壌・環境 チーム	北部振 興局	H27～29	県単
2) 製鋼スラグを利用した野菜類栽培における多面的効果の検証				
(1) 病害発生抑制効果の確認				
① フザリウム病発生抑制効果確認	土壌・環境 チーム	病虫害 対策 チーム	H28～30	県単
② 白絹病発生抑制効果確認	土壌・環境 チーム	病虫害 対策 チーム	H28～30	県単
(2) 品質向上効果の確認				
① 葉菜類の成分増加効果確認	土壌・環境 チーム	関係振 興局	H28～30	県単
② 果菜類の成分増加効果確認	土壌・環境 チーム	関係振 興局	H28～30	県単
③ 根菜類の成分増加効果確認	土壌・環境 チーム	関係振 興局	H28～30	県単
(3) 環境負荷への影響検討				
① 土壌化学性への影響調査	土壌・環境 チーム	関係振 興局	H28～30	県単
② 地下浸透水への影響調査	土壌・環境 チーム	関係振 興局	H28～30	県単
<b>II 研究を支える基礎調査と優良種苗管理</b>				
・ 農業情報の提供（生育状況、気象データ）				
1) 経営マインドを持った力強い担い手の育成及び定着支援				
(1) 新規就農者の定着				
① 新規就農の経営実態把握調査	企画指 導担当	地域農業振興 課、各振興局	H28	県単
2) 農業情報の提供（気象データ）	企画指 導担当	水田農業グ ループ、果樹 グループ、花 きグループ	長期	県単
・ 土壌情報の活用				
1) 農地土壌炭素貯留等基礎調査事業	土壌・環境 チーム	振興局集落・ 水田班、野菜 班、畜産班	長期	国庫委託

農業研究部（8／9）

試験研究課題名	担当 チーム	連携 機関	研究 期間	予算 区分
I大課題、 1中課題 ・研究項目 ※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①				
・ 土壌肥料検査業務	土壌・環境 チーム	なし	長期	県単、 一部委託
・ 土壌環境調査の実施による企業参入支援並びにほ場整備等の支援	土壌・環境 チーム	なし	長期	県単、 一部委託
・ 病害虫発生予察情報（普通作・野菜・果樹・茶） 1）病害虫発生予察事業 （1）発生予察技術支援対策 ① 薬剤感受性及びウイルス保毒虫率の検定 2）チャの病害虫防除に関する研究 （1）チャの主要病害虫の発生予察に関する試験 ① 主要病害虫の発生状況調査 ② チョウ目害虫、クワシロカイガラムシ等の発生予察調査	病害虫 対策 チーム	なし	H28～30	県単、 一部国庫
・ ウィルスフリー苗の作出 1）イチゴのウィルスフリー苗育成	果菜類 チーム	なし	長期	県単
2）カンショの茎頂培養によるウィルスフリー苗育成	葉根菜 類・茶業 チーム	果菜類 チーム	長期	県単
3）カンショの品種選定	葉根菜 類・茶業 チーム	九沖農 研セ	長期	県単
・ 地域固有の動植物の保存	企画指導 担当	各振興局	長期	県単
・ 委託薬剤試験 1）安全生産技術に関する研究 （1）病害虫防除対策 ① 病害に対する薬剤選定 ② 虫害に対する薬剤選定 2）チャの病害虫防除に関する研究 （2）チャの主要病害虫を対象とした委託試験 ① 新農薬の実用性判定試験（日本植物防疫協会試験） ア. チャトゲコナジラミ ② 登録農薬の有効利用法の検討（九防協連絡試験） ア. チャハマキの効率適防除試験 イ. カンザワハダニの効率適防除試験 ウ. チャトゲコナジラミの効率適防除法の確立1	病害虫 対策 チーム 病害虫 対策 チーム	各振興局 なし	長期 長期	県単、 一部委託 県単、 一部委託
	葉根菜 類・茶業 チーム	日本植物防疫 協会、九防 協、福岡県、 鹿児島県	H28	県単
	葉根菜 類・茶業 チーム	日本植物防疫 協会	H28	県単
	葉根菜 類・茶業 チーム	九防協	H28	県単
	葉根菜 類・茶業 チーム	九防協	H28	県単
	葉根菜 類・茶業 チーム	九防協	H28	県単

農業研究部（9／9）

試験研究課題名		担当	連携	研究	予算
I 大課題、 1 中課題 ・ 研究項目		チーム	機関	期間	区分
※「・研究項目」以下の区分：1）、（1）、①					
	エ. チャトゲコナジラミの効率適防除法の確立2	葉根菜類・茶業チーム	九防協	H28	県単
	(3) チャの病害虫防除対策試験				
	① 主要病害虫の薬剤感受性検定				
	ア. チャノミドリヒメヨコバイの薬剤感受性検定	葉根菜類・茶業チーム	中部振興局、豊肥振興局	H26～28	県単
	・ マイナー作物農薬残留調査	病害虫対策チーム	温州みかんチーム、中部振興局、西部振興局、大分県薬剤師協会	H28～30	県単、一部国庫

3. 研究成果等の公表及び情報発信

(1) 刊行物等の発行

刊行物誌名	刊行年月日	頁数	部数
平成28年度植物防疫事業成績書（年報）	H29. 3. 31	70	300
平成27年度農業研究部試験研究成績書	H28. 7月	348	50

(2) 学会誌、専門誌等への投稿

執筆者	論文名	掲載誌名	巻（号）	掲載頁
福本律子・鈴木智範・山崎修一	夏秋トマト栽培におけるすすかび病の発病と植物体内硝酸イオン濃度との関係	九州病害虫研究会報	第62巻	138
世古雅一・田中啓二郎	大分県の白ネギにおける萎凋病の発生消長と耕種的防除	九州病害虫研究会報	第62巻	139
姫野和洋・松浦明・岡崎真一郎・玉野井昭・山崎真居・土田聡	ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの寄主別増殖率の調査	九州病害虫研究会報	第62巻	143
岡崎真一郎・井上美樹・上杉龍士・長坂幸吉	ピーマン施設内の三尺ソルゴーに発生したアブラムシ類から確認された一次寄生蜂種	九州病害虫研究会報	第62巻	144
田中啓二郎・姫野和洋・安倍崇博・後藤英世	大分県におけるシソモザイク病の発生実態調査	日本植物病理学会	第83巻	78-79
山野秀真	冬春トマトにおける変温管理を用いた炭酸ガス施用効果の実証	九州農業研究発表会専門部会発表要旨集	第79回	未印刷

(3) 研究会、学会等での発表

発表年月日	研究会、学会等の名称	発表者	発表課題名
H28. 9. 7	第79回九州農業研究発表会	武政彰	大分県における新規就農者の経営実態把握
H28. 9. 14-16	日本線虫学会大会第24回大会	鈴木智範・山野秀真	大分県におけるナンヨウネコブセンチュウの発生
H28. 10. 20	九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会 遺伝子研究連絡会	深蔵知花	日本一のホオズキ産地を支える優良系統育種技術の開発
H28. 11. 9	第92回九州病害虫研究会研究発表会	世古雅一・田中啓二郎	大分県における白ネギ萎凋病の発生消長調査及び防除体系の検討
H28. 11. 9	第92回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範・山崎修一	大分県の夏秋トマトほ場におけるネコブセンチュウ類の線虫種
H28. 11. 9	第92回九州病害虫研究会研究発表会	田中啓二郎・姫野和洋・安倍崇博・後藤英世	大分県におけるシソモザイク病の発生実態調査
H28. 12. 8	平成28年度第30回いも類研究会	大仲真喜子	「べにはるか」の腐敗果軽減技術
H29. 1. 26	九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会	大坪亮介	ベルトプランターによる根深ネギ大苗育苗技術の確立
H29. 1. 26	九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会	山野秀真	夏秋トマトの整枝法改善による出荷平準化の検討
H29. 1. 26	九州沖縄農業試験研究推進会議 野菜・花き推進部会	山賀陽子	夏秋トマトにおける優良品種の選定
H29. 2. 2	第93回九州病害虫研究会研究発表会	鈴木智範	カーバムナトリウム塩液剤による省力的線虫防除方法の検討
H29. 2. 2	点滴灌水普及説明会	大坪亮介	大分県におけるネギの生産の現状と点滴灌水試験事例
H29. 2. 9-10	九州沖縄地区植物防疫関係者研修会	田中啓二郎	コリアンダー褐斑病（仮称）

(4) 研究成果発表会

発表会の名称	開催年月日	開催場所	発表課題数	参加者数
平成29年度第1回 農林水産試験研究状況報告会（副知事報告）	H28. 7. 29	県庁舎本館 71会議室	1	50
イチゴオリジナル品種「大分6号」育成報告（知事報告）	H29. 1. 26	知事室	1	10

#### 4. 研究成果の普及、技術指導

##### (1) 講習会、研修会の開催

開催年月日	講習会、研修会等の名称	開催場所	参加者数	備考（共催、要請機関等）
H28.5.2	一番茶加工研修	農業研究部	6	大分県茶業協会
H28.5.17	果樹アザミウマ研修会	杵築市	50	地域農業振興課
H28.5.24	普及指導員専門技術研修（安全農業）	農業研究部	20	地域農業振興課
H28.6.1	サニープレイスファーム現地検討会（1回目）	佐伯市	8	H29.2.20に第2回目を実施
H28.6.9	無人ヘリ講習会	産業科学技術センター	50	地域農業振興課
H28.6.13	専門技術研修（基礎・茶）	農業研究部	6	地域農業振興課
H28.6.16	社会科学習	大分市	171	大分市立西の台小学校
H28.6.16	普及指導員専門技術研修（野菜・基礎）	農業研究部	6	地域農業振興課
H28.7.5	課題解決研修（ベストブレンド）	農業研究部	24	地域農業振興課
H28.7.6	ピーマン連絡協議会研修会	竹田市	55	全農
H28.7.21	第48回大分県茶葉品評会審査会	農業研究部	13	大分県茶業協会
H28.8.23	大分6号現地検討会	杵築市	8	地域農業振興課
H28.8.23	大分県茶業協会理事会	別府市	30	大分県茶業協会
H28.8.25	ドリンク茶専用法人生産対策研修会	農業研究部	29	県内ドリンク茶法人
H28.9.21	大分味一ねぎ生産部会宇佐支部トレーニングファーム講習会	北部振興局	10	北部振興局
H28.10.12	味一ねぎ部会研修会	北部振興局	8	北部振興局
H28.10.12	普及指導員専門技術研修（野菜・基礎）	農業研究部	20	地域農業振興課
H28.10.28	平成28年度水田地力対策検討会	花きグループ	27	地域農業振興課
H28.11.9-10	普及指導員専門技術研修（野菜・基礎）	農業研究部	6	地域農業振興課
H28.11.21	平成28年度就農学校及びビファーマーズスクール運営主体研修会	大分市	43	新規就業経営体支援課
H28.11.28	施肥・防除対策研修会	大分市	150	地域農業振興課
H28.12.6	ピーマン部会研修会	豊後大野市	100	大分県農協豊肥事業部
H28.12.6-7	平成28年度九州沖縄農業研究推進会議野菜・花き推進部会イチゴ研究会	大分市、杵築市	58	九州沖縄農業試験研究推進会議
H28.12.15	病虫害防除講習会	杵築市山香	10	東部振興局
H28.12.22	パブリカ成分分析手法現地研修会	九重町	8	西部振興局
H29.1.12	農業大学校土壌分析研修	農業研究部	8	大分県農業大学校
H29.1.12	トマト部会栽培講習会	竹田市	50	大分県農協豊肥事業部
H29.1.17	農業大学校土壌分析研修	農業研究部	8	大分県農業大学校
H29.1.25	（南部局管内）イチゴ新規就農者研修会	農業研究部	6	南部振興局
H29.1.30	J A おおいた大鶴野菜部会研修会	農業研究部	20	西部振興局
H29.1.31	大分6号現地検討会	佐伯市	8	地域農業振興課
H29.2.9	豊後大野市新農業者協議会先進地視察研修	農業研究部	14	豊後大野市
H29.2.9-10	九州・沖縄地区植物防疫関係者研修会	那覇市	70	九州農政局、九州沖縄地区病虫害防除所職員連絡協議会
H29.2.13	ドリンク茶専用法人生産対策研修会	花きグループ	23	園芸振興室
H29.2.15	農薬指導士資格試験認定研修	大分市	150	地域農業振興課
H29.2.24	オオバ研修会	大分市	30	中部振興局
H29.2.28	平成28年度大分県自給飼料増産セミナー	大分市	44	畜産技術室、大分県草地飼料協会
H29.3.7	白ネギ研修会	農業研究部	30	園芸振興室
H29.3.9	専門技術研修（基礎・茶）	農業研究部	5	地域農業振興課
H29.3.23	大分なら広域共販技術者協議会役員会	大分市	15	園芸振興室

(2) 受入研修

① 長期研修者受け入れ

該当なし

② 生産者、団体職員、普及指導員等短期受入研修及び視察対応

対象者	件数	受入人数
生産者	2	20
団体等職員	1	17
普及指導員	5	34
児童・生徒	1	36
その他	3	14
計	12	121

※小中高校

(3) 指導・研修プロジェクトの実証

課題名	目的	現地実証等の概要
一番茶における適期摘採予測による収穫計画作成と実施	一番茶における適期摘採予測による収穫計画の作成と実施	ドリンク茶生産法人ごとに一番茶の摘採計画を立てた。また摘採期間中は適宜成分分析を行い品質合格率の向上を目指した。
西日本一の夏秋ピーマン産地の土台を支える技術の確立	IPMによるアザミウマ防除技術のパプリカ及び野津ピーマン産地への普及	現地のパプリカ栽培圃場で2種類の天敵資材を使用し防除効果を検証した。
栽培情報モニタリングによるイチゴの最適管理技術	イチゴの単収向上のためのハウス内栽培環境管理技術の普及	現地実証圃を佐伯市、玖珠町、豊後高田市の3カ所に設置してハウス内環境データを測定し単収向上に向けたデータ分析を行った。